

17 防災〇×クイズ

防災に関する二者択一のシンプルな〇×クイズを、体を動かして行います。クイズ形式で楽しく進めることで、自然と防災の知識が身につきます。



クイズ形式で実施することで、楽しく積極的に、防災に関する知識を学習します。



小学校低学年、
小学校高学年



演習



屋外・屋内
両方可



40分

時間軸

実施内容

対象人数★5～40人（1グループ5～6人）

1 事前準備

- 問題準備**／出題する問題は、資料17-1に「小学校低学年用」「小学校高学年用」が用意されています。参加する学年によって使い分けてください。小学校の児童全員と中学生以上が参加する場合、低学年用を基本として、合間に中高学年用の問題をいくつか入れるとよいでしょう。問題は、足りなくならないように多めに準備します。
- 会場準備**／運動場、体育館などに「○」と「×」を区切るよう線を引くか、ロープを準備します。大きなプラカードでもよいでしょう。間違った児童が移動する「残念スペース」も確保します。
- 参加形態**／個人参加とグループ参加が考えられますが、グループ単位としたほうが、みんなで相談ができ盛り上がるかもしれません。



「○」「×」のプラカードがあるといふ

2 導入（5分）

⇒資料17-1

- ルール説明**／ルールの説明をします。
 - 今から実施される〇×クイズは、火災や地震など災害についての問題が出題されること、問題の内容をよく聞いて覚えておくと、いざという時に自分や家族の命を守れるかもしれないこと、したがって、自分が間違っても、他の人の問題もよく聞いて覚えて帰るよう伝えます。
 - 防災に関するクイズが出題されるので、○か×か考え、自分の答えのほうへ移動するよう指示します。（班ごとに実施する場合は全員で移動します）
 - 事故防止のため、移動の際は走ったりせず、他の人とぶつからないよう注意するように指示します。
- 練習**／資料17-1をもとに簡単な問題で一度練習します。防災に関係ない面白問題でも可（例：昨日の〇〇先生の夜ご飯はカレーライスだった。○か×か？）など。（なお、資料17-1は指導者用資料のため、参加者には配付しません。）



答えを考えたら〇×どちらかに移動

3 クイズ実施（30～35分）※出題数により調整可能

⇒資料17-1

- クイズの実施**／資料17-1をもとに防災クイズを出題します。
 - 時間内に移動してもらい、答えを発表します。間違った参加者（グループ）は、残念スペースへ移動します。
 - その後いくつか出題し、残りの人数を少なくしていき、最終的に残った参加者（グループ）が勝ちとなります。タイムオーバーや連続正解者が少なくなったら終わりでも可。
- 実施時の工夫**／退出者も参加できる工夫が必要です。
 - 間違った参加者（グループ）は、以後手持ち無沙汰となり、他人の問題をあまり聞かないかもしれません。そこで、途中で「敗者復活問題」として、残念スペースの人だけに問題を出題します。
 - 防災の問題だけで飽きるようなら、練習のように防災に関係ない問題を入れてもいいでしょう。



子どもたちを飽きさせない工夫が必要

実施内容

時間軸

- 答えを発表するときは、具体的な解説をします。途中で、すでに出した問題を再度出すと、解説まで集中して聞いてくれます。
- 学校開放デーや参観日に合わせて実施し、保護者などにも一緒に参加してもらって家族で覚えることができ、また盛り上がります。

4 まとめ（5分）

- 今日覚えたことはいつ役に立つかわからないので、しっかりと覚えて帰るよう伝えます。
- 小学校の児童全員で実施する場合、校長先生からもお話しいただきましょう。



● 指導ポイント

- 最後まで全員が集中できる（参加できる）工夫が必要です。
- 答えを発表するときに、解説を集中して聞かせる工夫が必要です。



● 自主防災組織の関わり方

教職員が子どもを誘導する場合は、出題者の役をお願いします。



● 準備するもの（目安）

準備品	数	備考
□資料「防災〇×クイズ」	人数分	資料17-1（指導者用）



● 家庭への持ち帰り

実施後にクイズの問題と回答を書いた用紙を子どもに配付し、共通の話題づくりとして家庭で保護者ともやってみよう指導してください。



● ひと工夫

【最後まで全員が参加できる工夫】敗者復活問題を出題する／全員が全問題に参加し、正解数を競います。
【解説をしっかり聞かせる工夫】同じ問題を何度か出すなどし、解説をしっかり聞いていると正解できる問題を序盤で出題します。



● 注意事項

大勢の子どもたちが同時に動くため、事故が発生する可能性があります。安全管理には十分注意が必要です。



● 子どもたちの声

- 防災のことがわかったので、勉強になりました。
- 楽しかったです。
- 問題が難しかったです。次は全問正解したいです。
- （6年生）中学になってもやってほしいです。
- （全学年一緒に実施したので）1年生でも分かる問題にしたほうがいいと思います。